

令和8年9月定例会議

決算特別委員会分科会資料

- 1 議案第 92 号
令和7年度福島市各会計歳入歳出決算認定の件(上下水道局所管分) P2～
- 2 議案第 93 号
令和7年度福島市水道事業会計決算認定の件 P4～
- 3 議案第 94 号
令和7年度福島市下水道事業会計決算認定及び剰余金処分の件 P12～
- 4 議案第 95 号
令和7年度福島市農業集落排水事業会計決算認定の件 P20～
- 5 報告第 15 号
福島市水道事業会計予算の継続費精算の件 <議案書> P56～57
・基幹管路耐震化事業
・西部地区上水道整備事業
・茶臼森系配水管整備委託事業
- 6 報告第 18 号
令和7年度福島市健全化判断比率及び資金不足比率報告の件 <議案書> P62～63
(上下水道局所管分)

上 下 水 道 局

議案第92号

令和7年度福島市各会計歳入歳出決算認定の件（上下水道局所管分）

令和7年度 一般会計歳入歳出総括表

（単位：円）

歳 入			
予算現額	調定額	収入済額	収入未済額
35,487,000	17,043,798	17,043,798	0

（単位：円）

歳 出			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,965,710,000	2,941,138,029	0	24,571,971

令和7年度 一般会計 歳入・歳出

歳 入

(単位：円)

決算書 ページ	款	項	目	節	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	備 考
37	15 使用料及び 手数料	1 使用料	7 土木使用料	4 都市計画 使用料	2,000	2,610	2,610	0	都市下水路敷地使用料
39		2 手数料	3 衛生手数料	1 保健衛生 手数料	442,000	411,900	411,900	0	浄化槽保守点検業者登録等手数料
44	16 国庫支出金	2 国庫補助金	3 衛生費 国庫補助金	1 保健衛生費 補助金	20,591,000	8,490,000	8,490,000	0	浄化槽設置整備事業費補助金
50	17 県支出金	2 県補助金	3 衛生費 県補助金	1 保健衛生費 補助金	14,452,000	8,113,000	8,113,000	0	浄化槽設置整備事業費補助金
62	22 諸収入	5 雑入	2 雑入	34 原子力損害 賠償金	0	26,288	26,288	0	平成26年度原子力災害損害賠償金（人件費）
歳 入 合 計					35,487,000	17,043,798	17,043,798	0	

歳 出

(単位：円)

決算書 ページ	款	項	目	細目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	備 考	
96	4 衛生費	1 保健衛生費	7 環境衛生費	環境衛生諸費	64,452,000	40,326,789	0	24,125,211	浄化槽設置整備事業費 (予算額: 60,951,000)	37,597,150
									合併処理浄化槽転換促進支援事業費 (予算額: 2,410,000)	1,755,000
									浄化槽事業費 (予算額: 1,011,000)	921,039
									浄化槽保守点検業者登録事業費 (予算額: 80,000)	53,600
105	6 農林水産業費	1 農業費	5 農地費	農業集落排水 事業費補助金	161,159,000	161,159,000	0	0	農業集落排水事業経営費等補助金	
121	8 土木費	4 都市計画費	8 公共下水道費	下水道事業費 補助金	2,731,380,000	2,731,380,000	0	0	下水道事業経営費等補助金	
			9 都市下水路費	都市下水路 維持費	8,719,000	8,272,240	0	446,760	維持管理費	
歳 出 合 計					2,965,710,000	2,941,138,029	0	24,571,971		

【議案第93号】

令和7年度福島市水道事業会計決算認定の件

福島市水道事業会計決算概要

- (1) 業務実績表
- (2) 決算概要
- (3) 経営分析



(1) 令和7年度 業務実績表

(令和8年3月31日現在)

項 目	A	B	比 較		備 考
	令和7年度	令和6年度	(A-B)C増減	C/B増減率(%)	
1. 総 人 口	266,472 人	269,208 人	△ 2,736 人	△ 1.0	基準日：各年3月31日現在 福島市の推計人口を基準に算出
2. 計 画 給 水 人 口	282,000 人	282,000 人	0 人	0.0	
3. 現 在 給 水 人 口	261,128 人	263,714 人	△ 2,586 人	△ 1.0	
4. 給 水 戸 数	128,833 戸	128,926 戸	△ 93 戸	△ 0.1	
5. 普 及 率	98.0 %	98.0 %	0.0 ポイント	—	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{総人口}} \times 100$
6. 導 送 配 水 管 延 長	1,650,525 m	1,650,218 m	307 m	0.0	
7. 配 水 能 力	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 112,020	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 112,020	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 0	0.0	
8. 年 間 総 受 水 量	28,415,732 m ³	28,875,736 m ³	△ 460,004 m ³	△ 1.6	
9. 年 間 総 配 水 量	28,572,671 m ³	29,030,564 m ³	△ 457,893 m ³	△ 1.6	
10. 年 間 総 給 水 量	26,754,122 m ³	27,099,953 m ³	△ 345,831 m ³	△ 1.3	
11. 年 間 総 有 収 水 量	25,728,245 m ³	26,030,231 m ³	△ 301,986 m ³	△ 1.2	
12. 1 日 最 大 配 水 量	85,682 m ³	85,574 m ³	108 m ³	0.1	
13. 1 日 平 均 配 水 量	78,281 m ³	79,536 m ³	△ 1,255 m ³	△ 1.6	$\frac{\text{年間総配水量}}{365 \text{ 日}}$
14. 1 人 1 日 最 大 配 水 量	328 ℓ	324 ℓ	4 ℓ	1.2	$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{\text{現在給水人口}} \times 1,000\ell$
15. 1 人 1 日 平 均 有 収 水 量	270 ℓ	270 ℓ	0 ℓ	0.0	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{現在給水人口} \times 365 \text{ 日}} \times 1,000\ell$ ※令和5年度は366日
16. 有 収 率	90.0 %	89.7 %	0.3 ポイント	—	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$
17. 職 員 数	112 人	115 人	△ 3 人	△ 2.6	
18. 損益勘定所属職員数	85 人	87 人	△ 2 人	△ 2.3	
19. 資本勘定所属職員数	27 人	28 人	△ 1 人	△ 3.6	
20. 負 荷 率	91.4 %	92.9 %	△ 1.5 ポイント	—	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$
21. 施 設 利 用 率	69.9 %	71.0 %	△ 1.1 ポイント	—	$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
22. 最 大 稼 動 率	76.5 %	76.4 %	0.1 ポイント	—	$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{\text{配水能力}} \times 100$
23. 配 水 管 使 用 効 率	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}}$ 17.31	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}}$ 17.59	$\frac{\text{m}^3}{\text{m}}$ △ 0.28	△ 1.6	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$
24. 固 定 資 産 使 用 効 率	$\frac{\text{m}^3}{\text{万円}}$ 6.73	$\frac{\text{m}^3}{\text{万円}}$ 6.81	$\frac{\text{m}^3}{\text{万円}}$ △ 0.08	△ 1.2	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$
25. 供 給 単 価	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 243.18	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 241.58	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 1.60	0.7	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$
26. 給 水 原 価	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 253.40	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 240.14	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 13.26	5.5	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$
27. 供 給 損 益	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ -10.22	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 1.44	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ △ 11.66	△ 809.7	供給単価-給水原価
28. 職 員 1 人 当 たり 給 水 人 口	3,072 人	3,031 人	41 人	1.4	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
29. 職 員 1 人 当 たり 有 収 量	302,685 m ³	299,198 m ³	3,487 m ³	1.2	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
30. 職 員 1 人 当 たり 営 業 収 入 益	千円 75,668	千円 74,187	千円 1,481	2.0	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
31. 職 員 1 人 当 たり 有 形 固 定 資 産	千円 378,893	千円 370,578	千円 8,315	2.2	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{全職員数}}$

(2) 決算概要

収益的収支 (経営活動に関するもの)	
項 目	金 額
収益的收入 (税込)	75億9,697万2,561円
収益的支出 (税込)	73億2,934万1,806円
純 利 益 (税抜)	1億2,403万8,048円

資本的収支 (資産形成・財産状況に関するもの)	
項 目	金 額
資本的收入 (税込)	6億8,810万9,633円
資本的支出 (税込)	27億 917万5,529円
不 足 額 (税込)	▲20億2,106万5,896円

年度末繰越財源

33億2,988万7,382円 (税抜)

◆前年度との比較

(単位 円、税込)

収益的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
収益的收入	7,596,972,561	7,613,612,367	▲16,639,806	▲0.2
・水道料金	6,881,843,183	6,916,835,051	▲34,991,868	▲0.5
・有収水量 (m³)	25,728,245	26,030,231	▲301,986	▲1.2
収益的支出	7,329,341,806	7,041,816,185	287,525,621	4.1
・修繕費等	580,930,610	435,190,235	145,740,375	33.5
純利益 (税抜)	124,038,048	385,865,881	▲261,827,833	▲67.9

資本的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
資本的收入	688,109,633	1,223,254,378	▲535,144,745	▲43.7
資本的支出	2,709,175,529	4,050,093,162	▲1,340,917,633	▲33.1
・老朽管更新事業	807,747,239	1,573,744,008	▲765,996,769	▲48.7
・土湯地区水道施設整備事業	286,217,820	42,233,726	243,984,094	577.7
資本的収支不足額	▲2,021,065,896	▲2,826,838,784	805,772,888	28.5

※R 7 不足額補填財源 (消費税資本的収支調整額140,178,517円、過年度分損益勘定留保資金1,695,540,501円、当年度分損益勘定留保資金185,346,878円)

支出合計・繰越財源	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
支出合計	10,038,517,335	11,091,909,347	▲1,053,392,012	▲9.5
年度末繰越財源 (税抜)	3,329,887,382	3,635,558,808	▲305,671,426	▲8.4

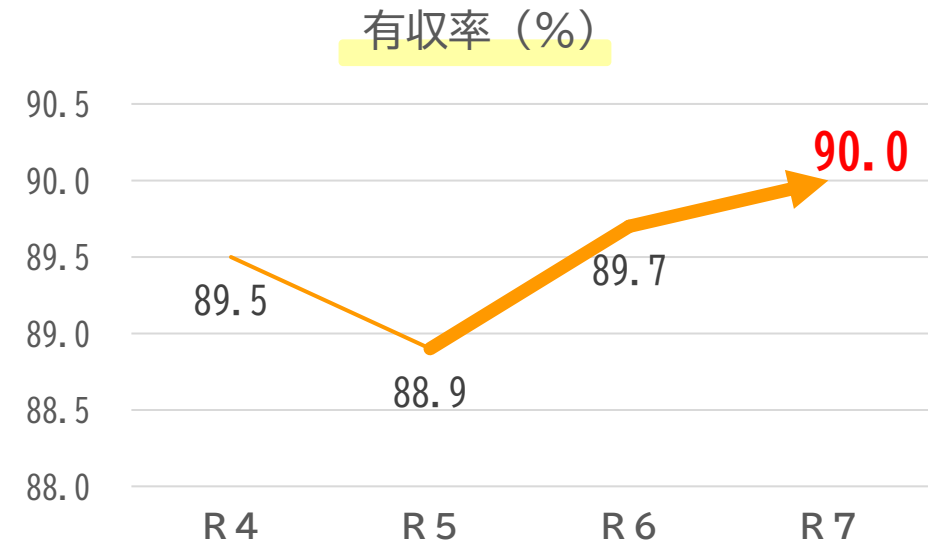
収益的収支（維持管理） 主な事業

① 有収率向上対策

5,017万1,000円

メンテナンス効率を向上させる水道DX技術の導入

- ・令和6年度から引き続き、人工衛星画像とAIを活用した漏水リスク評価により漏水調査を効率化
- ・漏水の早期発見と早期修繕に繋がり、**有収率が90.0%へ向上**
- ・管路経年化率 R5 22.4% R6 25.7% R7 28.2%



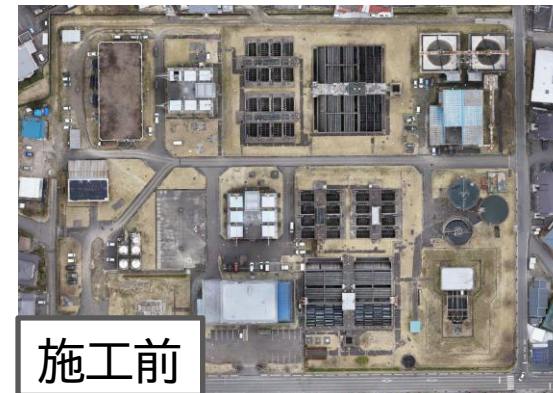
② 維持管理・修繕

19億8,121万7,846円

用途廃止施設の整理と稼働施設の延命化

- ・遊休資産の利活用を図るため、**渡利浄水場施設撤去工事**を推進
- ・修繕を要する**基幹管路の更生**や**橋梁添架管の塗装替**により、施設の延命化を推進

渡利浄水場施設撤去工事



資本的収支（建設改良） 主な事業

-9-

① 老朽管更新事業 等 8億4,252万439円

老朽管更新による基幹管路、重要施設接続管路の耐震化

- ・ R 7更新延長 3,883m 基幹管路（大口径管）を優先
- ・ 新たに、**病院や避難所など重要施設に接続する管路の耐震化**を推進
- ・ **基幹管路耐震適合率 R 7発注工事をもって100%**

※全国平均44.6%（R 6）

- ・ 管路更新率 R 5 0.2% R 6 0.3% R 7 0.2%

② 土湯地区水道施設整備事業 2億8,621万7,820円

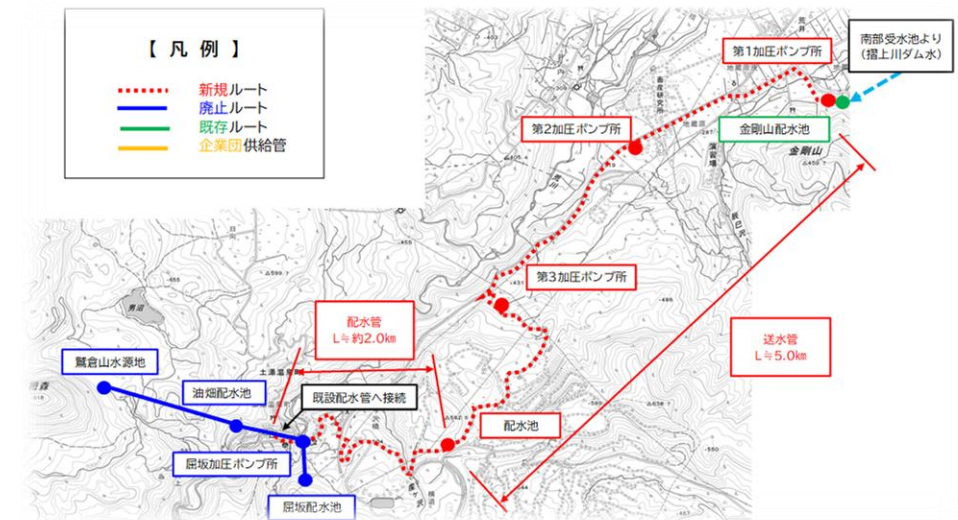
土湯温泉町地区への安定供給

- ・ 鷲倉山水源の不安定な水量を解消し、施設の耐震化を図るため、福島地方水道用水供給企業団（摺上川ダム）からの供給へ切替
- ・ **R 7は管路工事や配水池等築造工事に着手**、R 10給水開始予定
- ・ 設計施工一括発注方式（DB方式）により効率的に事業推進

老朽管更新事業（宮代系幹線300mm配水管布設替）



土湯地区水道施設整備事業の概要（イメージ）



③ その他更新事業 等

2億3,615万8,463円

管路以外の耐震化・強靱化、新規布設

- ・阿武隈川水管橋下部工耐震補強工事（最終年）
- ・舘ノ前加圧ポンプ所送水ポンプほか更新工事
- ・鳥川配水池流入流量計更新工事
- ・南向台配水池電気計装設備更新工事
- ・西部地区上水道整備事業

舘ノ前加圧ポンプ所送水ポンプほか更新工事



④ 応急給水体制の強化

3,062万7,300円

災害に強い水道の構築

- ・給水タンク車（2.8トン）1台購入
- ・設置型組立式タンク（1,000リットル）3基購入
- ・既存の給水タンク車、組立式タンクと合わせ、
災害時の応急給水体制を構築

給水タンク車



設置型組立式タンク



(3) 経営分析

指標等	R 7 決算 (A)	R 6 決算 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
①供給単価	243.18 円/m ³	241.58 円/m ³	1.60 円/m ³	0.7
②給水原価	253.40 円/m ³	240.14 円/m ³	13.26 円/m ³	5.5
③供給損益 ①－②	▲10.22 円/m ³	1.44 円/m ³	▲11.66 円/m ³	▲809.7
④料金回収率 ①／②	95.97 %	100.60 %	▲4.63 pt	－
⑤経常収支比率	101.81 %	105.87 %	▲4.06 pt	－
⑥企業債残高対給水収益比率	149.96 %	156.32 %	▲6.36 pt	－
⑦流動比率	250.11 %	271.45 %	▲21.34 pt	－

【主な指標等の分析】

④料金回収率（事業運営に係る費用に対する給水収益の割合）

- ・用途廃止施設整理事業や修繕費など営業費用の増加と、有収水量の減少により、料金回収率が低下した。

⑥企業債残高対給水収益比率（給水収益に対する企業債残高の割合）

- ・企業債の償還終了や予定工事の繰越に伴い年度内の借入額が減少したことから、企業債残高の割合が低下した。

⑦流動比率（流動負債に対する流動資産の割合）

- ・企業債等の負債の減少率より、預金等の資産の減少率が上回ったため、流動比率が低下した。
引き続き、200%以上の優良水準を確保している。

【議案第94号】

令和7年度福島市下水道事業会計決算認定及び剰余金処分の件

福島市下水道事業会計決算概要

- (1) 業務実績表
- (2) 決算概要
- (3) 経営分析

(1) 令和7年度 業務実績表

下水道事業会計

(令和8年3月31日現在)

項 目	(A) 令和7年度	(B) 令和6年度	比 較		説 明	備 考
			(C) 増減 A-B	増減率 (%) C/B		
1. 総 人 口	260,147 人	262,869 人	△ 2,722 人	△ 1.0		住民基本台帳人口
2. 計 画 区 域 人 口	220,400 人	220,400 人	0 人	0.0		
3. 処 理 区 域 人 口	176,926 人	178,146 人	△ 1,220 人	△ 0.7		
4. 普 及 率	68.0 %	67.8 %	0.2 ポイント	-	$\frac{3. \text{ 処理区域人口}}{1. \text{ 総人口}} \times 100$	
5. 水洗化(接続)戸数	83,293 戸	82,584 戸	709 戸	0.9		
6. 水 洗 化 人 口	168,847 人	168,928 人	△ 81 人	△ 0.0		
7. 水 洗 化 率	95.4 %	94.8 %	0.6 ポイント	-	$\frac{6. \text{ 水洗化人口}}{3. \text{ 処理区域人口}} \times 100$	
8. 下水道管渠延長	1,076,779 m	1,072,778 m	4,001 m	0.4		
9. 晴天時処理能力	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 23,380	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 23,380	$\frac{\text{m}^3}{\text{日}}$ 0	0.0		
10. 年間総処理水量	19,688,344 m ³	19,939,640 m ³	△ 251,296 m ³	△ 1.3		
(1) 汚 水 処 理 水 量	19,240,904 m ³	19,136,952 m ³	103,952 m ³	0.5		
(2) 雨 水 処 理 水 量	447,440 m ³	802,688 m ³	△ 355,248 m ³	△ 44.3		
11. 年間総有収水量	17,667,506 m ³	17,809,073 m ³	△ 141,567 m ³	△ 0.8		
12. 晴天時一日平均 処 理 水 量	12,778 m ³	12,121 m ³	657 m ³	5.4		
13. 有 収 率	91.8 %	93.1 %	△ 1.3 ポイント	-	$\frac{11. \text{ 年間総有収水量}}{10(1) \text{ 汚水処理水量}} \times 100$	
14. 施 設 利 用 率	54.7 %	51.8 %	2.9 ポイント	-	$\frac{12. \text{ 晴天時一日平均処理水量}}{9. \text{ 晴天時処理能力}} \times 100$	
15. 使 用 料 単 価	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 174.89	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 174.71	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 0.18	0.1	$\frac{\text{使用料収益}}{11. \text{ 年間総有収水量}}$	使用料収益 = 3,089,860,644 円
16. 汚 水 処 理 原 価	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 176.90	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 176.44	$\frac{\text{円}}{\text{m}^3}$ 0.46	0.3	$\frac{\text{汚水処理費}}{11. \text{ 年間総有収水量}}$	汚水処理費 = 3,125,370,565 円
17. 経 費 回 収 率	98.9 %	99.0 %	△ 0.1 ポイント	-	$\frac{\text{使用料収益}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	$\frac{3,089,860,644}{3,125,370,565} \times 100$

(2) 決算概要

収益的収支 (経営活動に関するもの)

項 目	金 額
収益的收入 (税込)	79億3,011万5,918円
収益的支出 (税込)	69億8,795万1,566円
純 利 益 (税抜)	8億3,198万9,523円

資本的収支 (資産形成・財産状況に関するもの)

項 目	金 額
資本的收入 (税込)	27億6,018万6,608円
資本的支出 (税込)	56億4,496万2,450円
不 足 額 (税込)	▲28億8,477万5,842円

年度末繰越財源

38億6,443万4,917円(税抜)

◆前年度との比較

-15-
(単位 円、税込)

収益的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
収益的收入	7,930,115,918	7,527,283,283	402,832,635	5.4
・下水道使用料	3,398,846,708	3,422,652,950	▲23,806,242	▲0.7
・有収水量 (m ³)	17,667,506	17,809,073	▲141,567	▲0.8
収益的支出	6,987,951,566	6,768,769,966	219,181,600	3.2
・流域下水道維持管理負担金	1,585,240,411	1,388,817,956	196,422,455	14.1
純利益 (税抜)	831,989,523	663,957,572	168,031,951	25.3

資本的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
資本的收入	2,760,186,608	2,481,210,474	278,976,134	11.2
資本的支出	5,644,962,450	5,313,904,375	331,058,075	6.2
・信夫山排水区 (祓川) 浸水対策事業	568,353,891	5,346,109	563,007,782	10,531.2
資本的収支不足額	▲2,884,775,842	▲2,832,693,901	▲52,081,941	▲1.8

※ R 7 不足額補填財源 (消費税資本的収支調整額110,174,829円、減債積立金663,957,572円、過年度分損益勘定留保資金2,110,643,441円)

支出合計・繰越財源	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
支出合計	12,632,914,016	12,082,674,341	550,239,675	4.6
年度末繰越財源 (税抜)	3,864,434,917	3,515,511,893	348,923,024	9.9

① 流域下水道の応分負担

15億8,524万411円

広域的な汚水処理による水質保全

- ・ 阿武隈川上流流域（県北処理区：福島市、伊達市、国見町、桑折町）の下水を収集し、国見町の県北浄化センターで処理
- ・ 福島市分 17,283,476^{m³} の負担金（R 7単価改正 79.59円→91.72円/^{m³}）を支出
- ・ 流域全体の下水処理の効率性と、安定した水質管理を図る

県北浄化センター



土湯温泉町浄化センター

② 公共、特環下水道の維持管理

6億2,749万288円

適切な維持管理と施設の延命化

- ・ 堀河町滞水池、土湯温泉町浄化センター、汚水及び雨水管渠、マンホールポンプなどの管理及び修繕
- ・ 施設や設備の適切なメンテナンスにより、延命化を図る



① 下水道ストックマネジメント事業

9,380万9,000円

下水道管渠の最適な改築・更新時期を把握

- ・ 下水道ストックマネジメント計画に基づき、管渠の点検・調査を実施
- ・ 結果を踏まえ、老朽化が確認されたマンホールポンプの更新工事を実施
- ・ 定期的な点検により、陥没事故や施設の機能停止などを予防保全し、
長期的なコストの縮減と平準化を図る

マンホールポンプの更新



② 下水道総合地震対策事業

2,409万円

防災・減災に向けた施設の耐震化

- ・ 重要な幹線管渠・緊急輸送路に埋設されている管渠の耐震補強
詳細設計を実施（R 8・9年度で施工予定）
- ・ 堀河町滞水池（管理棟）の耐震補強工事を実施
- ・ 重要幹線の耐震化率 R 9 100%（見込み）

堀河町滞水池（管理棟）耐震補強工事



③ 下水道管路の 全国特別重点調査

2,327万6,000円

埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け実施

- ・ 内径2 m以上、設置後30年以上経過した管路、約6 kmが対象
- ・ 管内潜行目視により、腐食、破損、ズレがないか調査
- ・ 要対応箇所について、R8以降、改築工事や
部分補修（215箇所）を実施

点検で発見された腐食、破損



④ 信夫山排水区 (祓川) 浸水対策事業

5億6,835万3,891円

雨水による浸水被害の軽減・解消

- ・ 継続費（R6～R10） 全体事業費46億7,700万円
- ・ 全体延長890m シールド工法（内径2,000mm）
- ・ R7 シールド機製作、発進部となる立坑の掘削ほか

シールド機製作



(3) 経営分析

指標等	R 7 決算 (A)	R 6 決算 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
①使用料単価	174.89 円/m ³	174.71 円/m ³	0.18 円/m ³	0.1
②汚水処理原価	176.90 円/m ³	176.44 円/m ³	0.46 円/m ³	0.3
③差引 ①－②	▲2.01 円/m ³	▲1.73 円/m ³	▲0.28 円/m ³	▲16.2
④経費回収率 ①／②	98.86 %	99.02 %	▲0.16 pt	－
⑤経常収支比率	111.28 %	110.11 %	1.17 pt	－
⑥企業債残高対事業規模比率	1,028.42 %	1,055.16 %	▲26.74 pt	－
⑦流動比率	110.95 %	100.28 %	10.67 pt	－

【主な指標等の分析】

④経費回収率（汚水処理費用に対する使用料収益の割合）

- ・汚水処理費用が増加し、使用料収益が減少したことにより、経費回収率が低下した。

⑥企業債残高対事業規模比率（使用料と汚水処理負担金の収益に対する企業債残高の割合）

- ・人口規模が類似する団体の平均を上回っているが、今後は企業債残高の減少に伴い、低下する見込みである。

⑦流動比率（流動負債に対する流動資産の割合）

- ・工事代金の一部として支払う前払金（資産）が増加し、企業債などの負債が減少したため、流動比率が上昇した。

【議案第95号】

令和7年度福島市農業集落排水事業会計決算認定の件

福島市農業集落排水事業会計決算概要

- (1) 業務実績表
- (2) 決算概要
- (3) 経営分析

(1) 令和7年度 業務実績表

農業集落排水事業会計

(令和8年3月31日現在)

項 目	(A) 令和7年度	(B) 令和6年度	比 較		説 明	備 考
			(C) 増減 A-B	増減率 (%) C/B		
1. 総 人 口	260,147 人	262,869 人	△ 2,722 人	△ 1.0		住民基本台帳人口
2. 計 画 区 域 人 口	3,640 人	3,640 人	0 人	0.0		
3. 処 理 区 域 人 口	2,037 人	2,065 人	△ 28 人	△ 1.4		
4. 普 及 率	0.8 %	0.8 %	0.0 ポイント	-	$\frac{3. \text{ 処理区域人口}}{1. \text{ 総人口}} \times 100$	
5. 水洗化(接続)戸数	748 戸	751 戸	△ 3 戸	△ 0.4		
6. 水 洗 化 人 口	1,802 人	1,839 人	△ 37 人	△ 2.0		
7. 水 洗 化 率	88.5 %	89.1 %	△ 0.6 ポイント	-	$\frac{6. \text{ 水洗化人口}}{3. \text{ 処理区域人口}} \times 100$	
8. 下水道管渠延長	37,547 m	37,547 m	0 m	0.0		
9. 晴天時処理能力	1,201 ^{m³/日}	1,201 ^{m³/日}	0 ^{m³/日}	0.0		
10. 年間総処理水量	174,320 m³	181,451 m³	△ 7,131 m³	△ 3.9		
(1)汚 水 処 理 水 量	174,320 m³	181,451 m³	△ 7,131 m³	△ 3.9		
(2)雨 水 処 理 水 量	- m³	- m³	- m³	-		
11. 年間総有収水量	174,320 m³	181,451 m³	△ 7,131 m³	△ 3.9		
12. 晴天時一日平均 処 理 水 量	478 m³	497 m³	△ 19 m³	△ 3.8		
13. 有 収 率	100.0 %	100.0 %	0.0 ポイント	-	$\frac{11. \text{ 年間総有収水量}}{10 (1) \text{ 汚水処理水量}} \times 100$	
14. 施 設 利 用 率	39.8 %	41.4 %	△ 1.6 ポイント	-	$\frac{12. \text{ 晴天時一日平均処理水量}}{9. \text{ 晴天時処理能力}} \times 100$	
15. 使 用 料 単 価	130.43 ^{円/m³}	132.26 ^{円/m³}	△ 1.83 ^{円/m³}	△ 1.4	$\frac{\text{使用料収益}}{11. \text{ 年間総有収水量}}$	使用料収益 = 22,736,040 円
16. 汚 水 処 理 原 価	274.29 ^{円/m³}	177.02 ^{円/m³}	97.27 ^{円/m³}	54.9	$\frac{\text{汚水処理費}}{11. \text{ 年間総有収水量}}$	汚水処理費 = 47,814,202 円
17. 経 費 回 収 率	47.6 %	74.7 %	△ 27.1 ポイント	-	$\frac{\text{使用料収益}}{\text{汚水処理費}} \times 100$	$\frac{22,736,040}{47,814,202} \times 100$

(2) 決算概要

収益的収支 (経営活動に関するもの)

項 目	金 額
収益的收入 (税込)	1億6,528万8,116円
収益的支出 (税込)	1億6,465万4,616円
純 利 益 (税抜)	0円

資本的収支 (資産形成・財産状況に関するもの)

項 目	金 額
資本的收入 (税込)	7,464万8,540円
資本的支出 (税込)	1億3,849万6,192円
不 足 額 (税込)	▲6,384万7,652円

年度末繰越財源

8,058万643円 (税抜)

◆前年度との比較

(単位 円、税込)

収益的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
収益的收入	165,288,116	138,300,349	26,987,767	19.5
・ 農業集落排水施設使用料	25,016,654	26,404,837	▲1,388,183	▲5.3
・ 一般会計補助金、負担金	94,379,260	77,701,935	16,677,325	21.5
・ 国庫補助金	12,000,000	-	12,000,000	皆増
収益的支出	164,654,616	137,751,449	26,903,167	19.5
・ 処理場費	45,368,889	30,746,052	14,622,837	47.6
・ 総係費	12,199,508	22,500	12,177,008	54,120.0
純利益 (税抜)	0	0	0	-
資本的収支	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
資本的收入	74,648,540	88,470,065	▲13,821,525	▲15.6
・ 一般会計出資金	66,779,740	83,470,065	▲16,690,325	▲20.0
資本的支出	138,496,192	138,536,093	▲39,901	▲0.0
資本的収支不足額	▲63,847,652	▲50,066,028	▲13,781,624	▲27.5

※ R 7 不足額補填財源 (消費税資本的収支調整額633,500円、過年度分損益勘定留保資金63,214,152円)

支出合計・繰越財源	R 7 決算額 (A)	R 6 決算額 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
支出合計	303,150,808	276,287,542	26,863,266	9.7
年度末繰越財源 (税抜)	80,580,643	87,202,118	▲6,621,475	▲7.6

施設の維持管理

4,810万1,144円

汚水を収集する管渠や処理場の維持

- ・ 処理場や管渠などの維持管理にあたり、運転、点検、修繕などの費用が継続的に発生
- ・ 突発的な故障や大規模な修繕を未然に防ぎ、**安定的に運営するため施設を適切に維持管理**
- ・ 処理場における余剰汚泥の収集運搬、電気・機械設備の保守点検にかかる委託料などを計上
- ・ R7は上記に加え、**両処理場のスクリーンユニット（汚水中の夾雑物を破碎、洗浄処理する装置）の分解整備を実施**

山口地区処理場



小田地区処理場



小田地区排水処理場
スクリーンユニット
の分解整備



分 解

整 備



(3) 経営分析

指標等	R 7 決算 (A)	R 6 決算 (B)	増減 (A) - (B)	増減率 (%)
①使用料単価	130.43 円/m ³	132.26 円/m ³	▲1.83 円/m ³	▲1.4
②汚水処理原価	274.29 円/m ³	177.02 円/m ³	97.27 円/m ³	54.9
③差引 ①－②	▲143.86 円/m ³	▲44.76 円/m ³	▲99.10 円/m ³	▲221.4
④経費回収率 ①／②	47.55 %	74.71 %	▲27.16 pt	－
⑤経常収支比率	99.97 %	99.99 %	▲0.02 pt	－
⑥自己資本構成比率	72.02 %	68.37 %	3.65 pt	－
⑦有形固定資産減価償却率	28.26 %	25.86 %	2.40 pt	－

【主な指標等の分析】

②汚水処理原価（有収水量 1 m³当たりの汚水処理に要した費用）

- ・施設の維持管理にかかる委託料などが増加し、有収水量が減少したことにより、汚水処理原価が上昇した。

④経費回収率（汚水処理費に対する使用料収入の割合）

- ・施設の維持管理にかかる委託料などが増加し、使用料収入が減少したことにより、経費回収率が低下した。

⑦有形固定資産減価償却率（有形固定資産の老朽化度合）

- ・管渠や処理場などの減価償却が着実に進んでいるが、有形固定資産全体の30%弱に留まっている。